

2月10日のウクライナ情報

安齋育郎

●ウクライナの真実—スコット・リッターの見る目(2023年2月8日)

<https://youtu.be/SVIF3Upmmm0>

ウクライナへの NATO による新型戦車供与について、それによって何が引き起こされようとしているかについての動画です。スコット・リッター元国連武器査察官による見解です。

日本にもまるで影響がないとは言えない話です。

最近、ロシアが敗けている、敗け続けているという発信が増えているようですが、この動画は真逆の情報になります。



●米国は日本を「アジアのウクライナ」に、対中策源地として利用＝専門家(2023年2月8日)

米国を中心とした北大西洋条約機構(NATO)はインド太平洋地域でもう一つのウクライナ危機を創ろうとしており、このなかで日本は対中国の策源地として利用される。中国の軍事専門家でcommentatorのスン・ジョンピン氏のこうした見解を、中国メディア「環球時報」が伝えている。

スン氏はアジアで一国でも米国の覇権を守り、中国抑止に動く操り人形となる国があれば、アジアの危機が訪れる可能性がある」と指摘し、次のように指摘している。

「アジア諸国のなかで日本は特殊なケースだ。第一次世界大戦、第二次世界大戦のいずれにおいてもパワーポリティクスを唱えていた国であり、過去の侵略は地域諸国に多大な苦痛をもたらした。そして、自らを西側諸国とみなしている。

中国と日本の間には単なる地政学的緊張だけでなく、歴史紛争もある。これらすべてを米国は利用するだろう。中国を封じ込める米国の戦略に従い続けられれば、日本はいずれ『アジアのウクライナ』になるかもしれない」

また、米国が日本に配備を計画している中距離ミサイルについては、「中国だけでなく北朝鮮やロシアなどの地域諸国にとっての脅威にもなりうる」と指摘。また、日本は米国に策源地として利用されていることも理解しなくてはならないと警告し、次のように述べている。

「米軍や自衛隊が台湾問題に介入すれば、中国への攻撃に使われる軍事施設は必ず中国からの反撃の対象となる」

これまでに米政府が、日本列島を含む第 1 列島線(九州・沖縄から台湾・フィリピン・インドネシアの

諸島群などを結ぶ中国の海域における軍事的防衛ライン)へのミサイル配備計画について、日本側へ打診していることが明らかになっていた。



●トルコの地震 地球の核の回転が遅くなったことが原因である可能性(Sputnik, 2023年2月8日)

※安齋注:ウクライナ問題とは関係ないが、恐ろしい話なので原発列島日本にいるものとして知っておいた方がいいと思います。

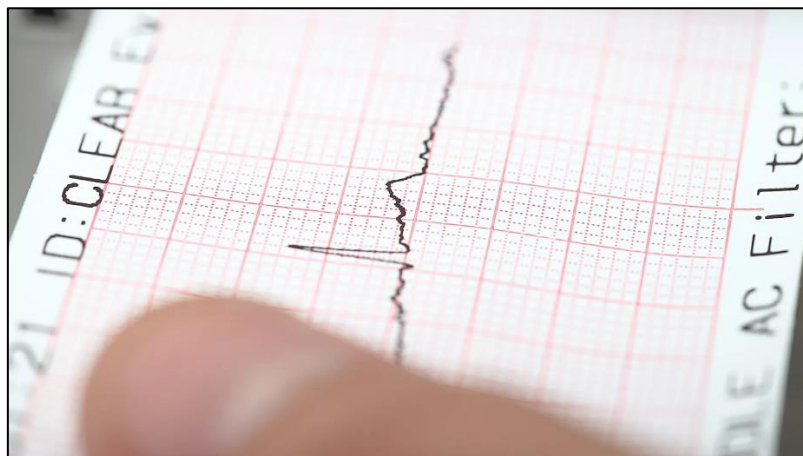
地震学者は、6日にトルコとシリアで発生した強い地震は、地球の中心部にある内核の回転が遅くなったことが原因であるとの可能性を示している。ワールドトゥデイニュースが報じた。

現地時間6日未明、トルコ南東部とマグニチュード7.8の強い地震が発生した。7日の時点で、この地震による死者数はトルコと隣国のシリアで4900人を超えており、負傷者の数も数万人にのぼる。多くの建物が倒壊し、交通網にも被害が出ている。

同メディアによると、北京大学の研究者らが以前、地球の中心部にある内核の回転が減速した可能性があるとの研究論文を発表した。その研究によると、核の回転が遅くなったとしても、人々の日常生活には全く影響は生じないものの、地球全体の動きに影響を及ぼす可能性があるという。

しかし、ロシアの地震学者のアンナ・ルシナ氏によると、トルコの地震はまだ始まりに過ぎない。同氏は、内核の回転が減速、停止、逆方向に回転し始めることは、地球全体のあらゆる地震現象に影響を及ぼし、新たな地震活動地域が現れるかもしれないと指摘している。

スプートニクは以前、国際研究チームが地球内部のマントルにある特定の密度をもつマグマの塊が謎の動きを確認したという研究について報じた。



●NATO のアジア訪問は警戒されている:中国評論家(ソン・ジョンピン、2023 年 2 月 6 日)

NATO 事務総長イェンス・ストルテンベルグは先週、アジア訪問を終えたが、これは、中国とロシアからのいわゆる脅威を誇大宣伝することで、東京とソウルでワシントンのロープを助ける旅行として広く見られている。

この訪問を通じて、NATO は、この地域の緊密なパートナーが、進行中のウクライナ危機に関してブロックに完全に味方することを望んでいます。これには特に、この点に関する国のスタンスが曖昧であるように思われ、ロシアとウクライナの危機が、キエフを支援する国々が補給のためにソウルに目を向けるにつれて、韓国の武器輸出の急速な成長を煽ったため、米国を満足させない韓国が含まれます。NATO はソウルと東京を望んでおり、ロシアと一緒に描かれた短剣でその立場を示すために、ウクライナにより多くの軍事援助を提供することができます。

ストルテンベルグのアジア訪問のもう一つの目的は、中国を封じ込める米国の戦略を調整することです。NATO は、中国を今後 10 年間の戦略的優先事項の 1 つとして挙げており、北京の政策はその安全保障に挑戦していると述べた。これは、実際には、中国を最大のライバルとしてターゲットにした米国のグローバル戦略によるものです。結局のところ、ブロックはワシントンの軍事道具に過ぎない。ワシントンは、アジア太平洋、さらには世界へのブロックの拡大を実現するための 2 つの道を持っていますが、アジア諸国を北大西洋軍事同盟に直接吸収することは困難であるが、1 つの手段は、オーストラリア、英国、米国との三国間協定である AUKUS を拡大することによって新しい軍事ブロックを作成することです。協定に参加するためにより多くの国を引き付ける。

もう一つは、より多くの地域諸国を NATO プラス協定に吸収することです。NATO プラスアプローチによるインド太平洋への拡大という NATO の戦略は、タコ戦略と見なすことができます。ブロック自体は地域問題に直接関与することはありませんが、その触手は関与できます。

今日、日本と韓国を除いて、ニュージーランドとオーストラリアはすでにこの取り決めに吸収されています。米国はインドを計画に加えようとしています。つまり、軍事同盟の触手は、米国のインド太平洋戦略と同時期にインド太平洋地域にまで及んでいる。

この戦略は主に中国を対象としているため、NATO の日本と韓国との協力は、その戦略的決定を実行に移すのに役立ちます。ブロックがヨーロッパのウクライナ危機と結びつくと、NATO プラスの 2 か国、特に中国の近隣諸国を利用してインド太平洋の緊張を高めることが容易になると考えている。

「ウクライナ・モデル」がインド太平洋で繰り返されるかどうかは、アジアにウクライナのように米国の先導に従い、米国の覇権を維持し、中国を封じ込めるための代理としての役割を果たす国があるかどうかにある。

アジア諸国の中でも、日本は特殊なケースです。第一次世界大戦も第二次世界大戦も、日本は権力政治を標榜する国であり、過去の侵略は地域諸国に数え切れないほどの苦しみをもたらしました。国はまた、それ自体を西側の国と見なしています。中国と日本には地政学的な緊張だけでなく、歴史的な対立もあります。これらすべては、ワシントンによって完全に利用されるだろう。中国を緊密に封じ込める米国の戦略に従い続ければ、日本は「アジアのウクライナ」になるかもしれない。

中国を含む残りのアジア諸国のほとんどは、侵略されたという歴史的な記憶を持っています。そして、彼らは、強さと自律性を追求する中国の意図、および他の多くのスタンスと慣行を理解しています。その結果、中国が政策の目的を明確にして動く限り、地域諸国の大多数は米国の先導に従わず、少な

くとも北京とワシントンの側に立つことはないと考えられています。

※注:著者は中国の軍事専門家であり、テレビコメンテーターです。



●戦地に赴くことを望まないウクライナ兵(2023年2月7日)

2月7日、ウクライナの捕虜証言と報告書からウ人が最前線への派遣を避ける為に、装備を破損している事が明らかになった。

捕虜によると、ある時からコサック軽装甲車は原因不明の故障をするようになったそうだ。「ある日、当局がやってきて軽装甲車の責任者を連行した。彼がわざと車輻を壊して陣地へ行けないようにしたことがわかった。燃料タンクに水や砂糖を加えたかもしれない」

さらに報告書の資料には「反ウクライナ活動を行なった軍曹に対する措置を取るよう要請する。レーダー装置の配線を破壊し装置を無力化することに関与した証拠がある」と第72別働隊機械化旅団の司令官宛ての文書があった。



●ウクライナのネオナチ組織 C14 の会見(2022年2月22日、再送)

”戦え、殺せ、西側の任務を果たせ”、キエフでの「バンデラ朗読会」

<https://youtu.be/jDMD9X43Dc> 日本語字幕あり

※安齋注:1年前の映像ですが、改めて見て「ぞっとする」ことも必要かもしれないと思い、再掲しました。



●大爆発！ロシア占領下のベルディアンスクが燃えている!(2023年2月8日)

ウクライナ・ロシア戦争の 348 日目、ウクライナ軍とロシア軍の激しい闘争が続いています。ウクライナ軍は、ロシア軍が占領している地域を集中的に攻撃し続けています。最近、ロシア軍が占領している多くの地域で爆発が報告されました。今日、別の占領地域で爆発が報告されました。

2月6日の午後、占領下のザポリージャ州のベルディアンスクで3回の爆発音が鳴り響いた。報告によると、防空システムはオンラインでした。

ベルディアンスク市の軍事行政長官であるヴィクトリア・ハリツィナは、次の声明を発表しました。「現時点では、3回の爆発があったことがわかっています。どうやら、敵の防空システムは2回ダウンしました。もう1回はターゲットに命中しました。」

爆発は13時頃に発生したと考えられています。進展があり次第、お知らせいたします。

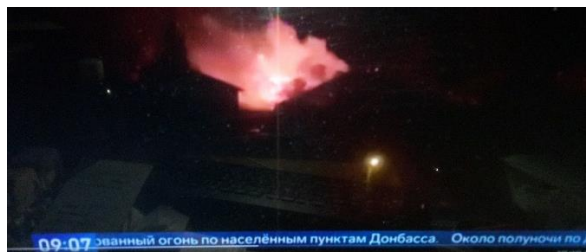


●ウクライナ軍のドンバスなどへの攻撃(2023年2月8日)

ウクライナの民族主義者がドンバスの人口密集地に大規模な攻撃を行なった。

午前0時頃、米国製ハイマースシステムから4発のロケット弾がドネツクに向けて発射された。住宅地はほぼ10分おきの砲撃に襲われた。NATO 砲弾がキエフとクイビシエフ地区で爆発した。ゴルロフカでは6回の爆発があった。

<https://twitter.com/i/status/1623220064102268929>



●バイデン一般教書演説、「われわれがプーチンに対抗した」(2023年2月8日)

バイデンは一般教書演説の中で次のように発言した。

「我々が導いたのだ。我々が NATO を団結させ、グローバルな同盟を築き上げたのだ。我々がプーチンの攻撃に対抗したのだ。我々がウクライナ国民を支持したのだ」。

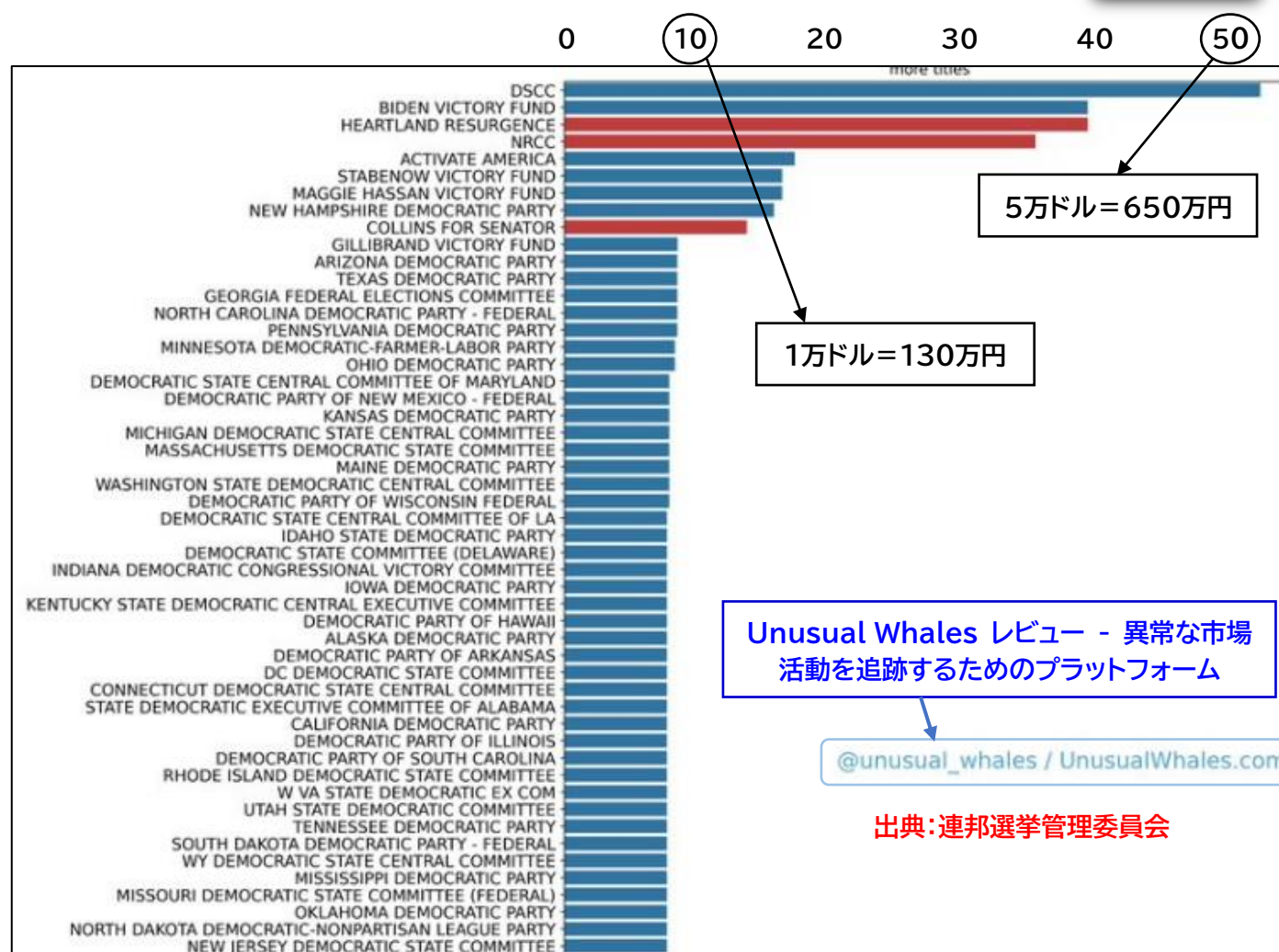
その上でウ国民が必要とする限り、米国は支援を行うと表明した。

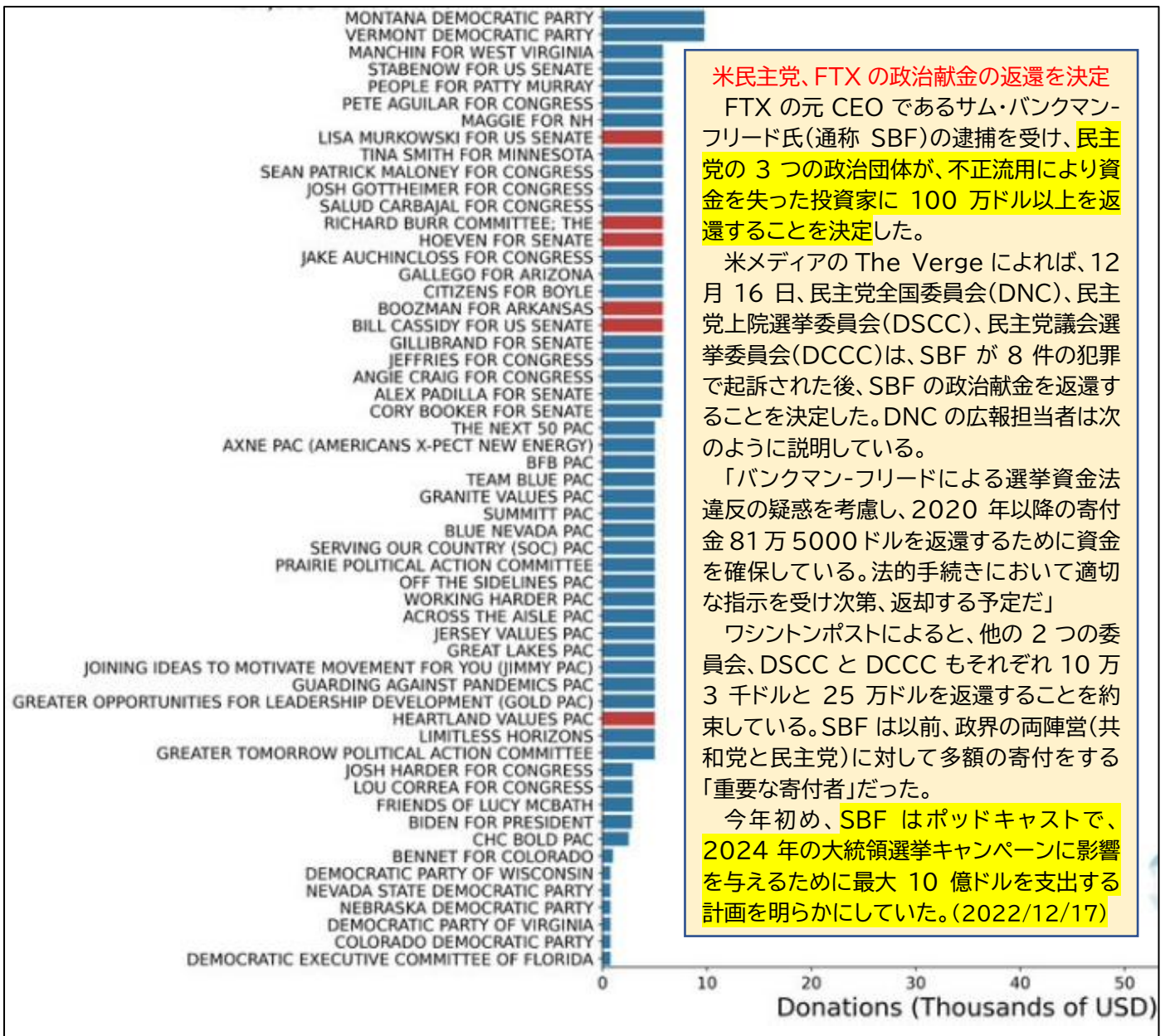
●破産した暗号資産と引き所の動き(2023年2月)

FTX(ウクライナと米民主党とマネーロンダリングして破産した暗号資産取引所)は、「寄付した政治資金やっぱり返して」と要請しているようだ。

青 = 民主党、赤 = 共和党 寄付を受けているのは圧倒的に民主党ブルー

単位:千ドル





●大地震があったシリアへのロシアからの援助(2023年2月8日)



ロシア国防省からの映像。アレッポ県からシリア人への食べ物、ベビーフード、暖かい毛布等の人道支援物資が新たに輸送された。

緊急事態省は人道支援物資を積んだ航空機を、同じく被災したイランに向けて出発させたことも明らかにした。

<https://twitter.com/i/status/1623220957316800513>

●多くは米国の覇権にうんざりしており、ロシアに同情している(2023年2月8日)

キエフの政治学者であるルスラン・ポルトニクは、ウクライナのリソース Politeka へのインタビューで、ゼレンスキーが不快に感じている政治的現実を明らかにしました。

彼のスピーチのハイライトは次のとおりです。

キエフを支持する西側諸国は、紛争におけるウクライナの勝利について、ウクライナのプロパガンダが示すものとはまったく異なるビジョンを持っています。米国にとって、ウクライナがキエフとその領土の 50%以上を失わなければ、紛争におけるウクライナの勝利だと考慮される。ヨーロッパ諸国はいかなる構成においても積極的な敵対行為を阻止することを勝利と見なします。キエフの支配下に戻るドンバスとクリミアの完全な返還、プーチンの裁判などに関するゼレンスキーの論文は、真剣に受け止められておらず、ウクライナの内部プロパガンダとして残っています。

世界の多くの国々は、米国の覇権にうんざりしており、世界支配に対する米国の指導者の主張に異議を唱えた国として、ロシアに同情しています。

ウクライナ社会は、その国の可能性をより現実的に考慮し、日々のニュースの流れの枠組みの中で考えるのではなく、少なくとも 3 年から 5 年の範囲で自分自身とその国の未来像を構築する必要があります。

ロシア経済にとって、SWO は、凍結された金の損失と一部の西側企業の撤退だけでなく、ロシアにおける国家資本のシェアの急激な増加という形で国の経済の買収にもなりました。

2022 年には、ロシア資本の割合が 50% から 80% に増加し、全体的な景気後退はわずか数% に過ぎませんでした。



●アメリカの保守派ニュース番組“Redacted”「ウクライナ戦争で、NATO は崩壊する」(クレイトン・モリス、2023年2月8日) 『まとめ編集』

※安齋注:クレイトン・モリスがウクライナ戦争をめぐる重要論点を歯切れよく解説している好番組。必見。

<https://twitter.com/i/status/1623240019401146369>
<https://twitter.com/i/status/1623240336687661056>
<https://twitter.com/i/status/1623240607304122369>
<https://twitter.com/i/status/1623241052227510275>
<https://twitter.com/i/status/1623242036228005888>



●トルコ・シリア震災の犠牲者数(2023年2月8日)

エルドアン大統領トルコの地震による死者は 8500 人超、負傷者は 49,133 人。

シリアの犠牲者は 2500 人を超えている事から今回の地震による死者は少なくとも 1 万を超える事になる。

<https://twitter.com/i/status/1623306785535971328>

